

2024年6月9日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒256番（MK 姉）

『歌いつつ歩まん』

聖書⇒イザヤ書 53章 1~6節（MM 姉）

『わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。  
主は御腕の力を誰に示されたことがあるうか。  
乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように／  
この人は主の前に育った。  
見るべき面影はなく／  
輝かしい風格も、好ましい容姿もない。  
彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／  
多くの痛みを負い、病を知っている。  
彼はわたしたちに顔を隠し／  
わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。  
彼が担ったのはわたしたちの病／  
彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／  
わたしたちは思っていた／  
神の手にかかり、打たれたから／  
彼は苦しんでいるのだ、と。  
彼が刺し貫かれたのは／  
わたしたちの背きのためであり／  
彼が打ち砕かれたのは／  
わたしたちの咎のためであった。  
彼の受けた懲らしめによって／  
わたしたちに平和が与えられ／  
彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。  
わたしたちは羊の群れ／  
道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。  
そのわたしたちの罪をすべて／

主は彼に負わせられた。」

礼拝讃美歌⇒355 番（旧 304 番）

『主はいのちを』

聖書⇒聖書⇒イザヤ書 41 章 9b~10 節（TM 兄）

『あなたはわたしの僕／わたしはあなたを選び、決して見捨てない。

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。

たじろぐな、わたしはあなたの神。

勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。』

聖書⇒ペトロの手紙一 5 章 7 節

『思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです。』

（祈）

礼拝讃美歌⇒321 番（旧 94 番）（KH 兄）

『主よわれら君を』

《パン裂き》

聖書⇒マルコによる福音書 14 章 22~25 節（KH 兄）

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱えて、彼らにお渡しになった。彼らは皆その杯から飲んだ。そして、イエスは言われた。「これは、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。はっきり言うておく。神の国で新たに飲むその日まで、ぶどうの実から作ったものを飲むことはもう決してあるまい。』

（式）

礼拝讃美歌⇒145 番（旧 60 番）

『主イエスよわれらは』

## 《建徳》

### 聖書⇒コリントの信徒への手紙二 12 章 1~10 節 (NH 兄)

『わたしは誇らずにいられません。誇っても無益ですが、主が見せてくださった事と啓示してくださった事について語りましょう。わたしは、キリストに結ばれていた一人の人を知っていますが、その人は十四年前、第三の天にまで引き上げられたのです。体のままか、体を離れてかは知りません。神がご存じです。わたしはそのような人を知っています。体のままか、体を離れてかは知りません。神がご存じです。彼は樂園にまで引き上げられ、人が口にするのを許されない、言い表しえない言葉を耳にしたのです。このような人のことをわたしは誇りましょう。しかし、自分自身については、弱さ以外には誇るつもりはありません。仮にわたしが誇る気になったとしても、真実を語るのだから、愚か者にはならないでしょう。だが、誇るまい。わたしのことを見たり、わたしから話を聞いたりする以上に、わたしを過大評価する人がいるかもしれないし、また、あの啓示された事があまりにもすばらしいからです。それで、そのために思い上がることのないようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。』

### 聖書⇒マタイによる福音書 9 章 6 節

『人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。』そして、中風の人に、「起き上がって床を担ぎ、家に帰りなさい」と言われた。』

### 聖書⇒ローマの信徒への手紙 8 章 28 節

『神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。』

### 聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 6 章 14 節 (KH 兄)

『しかし、このわたしには、わたしたちの主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決してあつてはなりません。この十字架によって、世はわたしに対し、わたしは世に対してはりつけにされているのです。』

### 聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 6 章 17 節 (KH 兄)

『これからは、だれもわたしを煩わさないでほしい。わたしは、イエスの焼き印を身に受けているのです。』

### 聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 2 章 19~20 節 (KH 兄)

『わたしは神に対して生きるために、律法に対しては律法によって死んだのです。わたしは、キリストと共に

十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。』

礼拝讃美歌⇒129番（旧 213番）（NH 兄）

『イエスよわが身を』

《建徳要旨》